

平成30年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成30年5月9日

上場会社名 株式会社ヨシックス 上場取引所 東・名
 コード番号 3221 URL http://www.yossix.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名) 吉岡 昌成
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 管理本部本部長 (氏名) 大崎 篤彦 (TEL) 052(932)8431
 兼 経営企画室室長
 定時株主総会開催予定日 平成30年6月26日 配当支払開始予定日 平成30年6月27日
 有価証券報告書提出予定日 平成30年6月27日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期の業績(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(1) 経営成績 (%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|--------|--------|------|-------|------|-------|------|-------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 30年3月期 | 15,683 | 23.3 | 1,646 | 43.6 | 1,958 | 41.0 | 1,221 | 40.3 |
| 29年3月期 | 12,714 | 15.8 | 1,146 | 5.8 | 1,389 | 9.4 | 870 | 22.3 |

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益 | 自己資本 当期純利益率 | 総資産 経常利益率 | 売上高 営業利益率 |
|--------|----------------|---------------------------|----------------|--------------|--------------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 30年3月期 | 118.74 | 118.11 | 25.0 | 24.5 | 10.5 |
| 29年3月期 | 84.83 | 84.23 | 22.1 | 22.1 | 9.0 |

(参考) 持分法投資損益 30年3月期 - 百万円 29年3月期 - 百万円

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|--------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 30年3月期 | 9,190 | 5,440 | 59.2 | 527.97 |
| 29年3月期 | 6,789 | 4,326 | 63.7 | 420.95 |

(参考) 自己資本 30年3月期 5,440百万円 29年3月期 4,326百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動による キャッシュ・フロー | 投資活動による キャッシュ・フロー | 財務活動による キャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物 期末残高 |
|--------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 30年3月期 | 2,671 | △849 | △97 | 4,750 |
| 29年3月期 | 1,410 | △904 | △73 | 3,026 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 | 純資産 配当率 |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|---------------|------|------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 29年3月期 | — | 7.00 | — | 5.00 | 12.00 | 123 | 14.1 | 3.1 |
| 30年3月期 | — | 6.00 | — | 10.00 | 16.00 | 164 | 13.5 | 3.4 |
| 31年3月期(予想) | — | 10.00 | — | 10.00 | 20.00 | | 14.9 | |

3. 平成31年3月期の業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|--------|------|-------|------|-------|------|-------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 8,837 | 18.2 | 901 | 14.0 | 1,095 | 13.7 | 675 | 14.3 | 65.51 |
| 通期 | 18,500 | 18.0 | 1,860 | 13.0 | 2,240 | 14.4 | 1,380 | 13.0 | 133.92 |

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

| | | | |
|--------|-------------|--------|-------------|
| 30年3月期 | 10,304,200株 | 29年3月期 | 10,277,600株 |
| 30年3月期 | 261株 | 29年3月期 | 161株 |
| 30年3月期 | 10,288,513株 | 29年3月期 | 10,264,649株 |

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|-----------------------------|---|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当期の財政状態の概況 | 2 |
| (3) 当期のキャッシュ・フローの概況 | 3 |
| (4) 今後の見通し | 3 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 3 |
| 3. 財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 貸借対照表 | 4 |
| (2) 損益計算書 | 6 |
| (3) 株主資本等変動計算書 | 7 |
| (4) キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (5) 財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (セグメント情報等) | 9 |
| (持分法損益等) | 9 |
| (1株当たり情報) | 9 |
| (重要な後発事象) | 9 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、政府による経済政策の効果もあり、雇用情勢や所得環境の改善が見受けられたものの、個人消費は今なお力強さに欠けた結果、全体的な伸びが鈍い状況となりました。また米国の貿易政策の混迷、利上げ観測に伴う新興国経済の減速、英国のEU離脱問題による欧州経済の失速懸念、更には東アジア地域における紛争懸念等、依然として先行き不透明感が払拭できない状況にありました。

外食業界におきましては、緩やかな回復基調を辿る一方、人材需給の逼迫に伴う人件費や採用コストの上昇や人材不足、更には消費者の節約志向による消費動向の鈍化傾向や業界内の顧客獲得競争が一段と激しくなっている等、経営環境は引続き厳しい状況が続いております。

このような環境のもと、当社の主力業態は「や台や」業態、「や台ずし」業態、「ニパチ」業態及び「これや」業態であり、地域特性を考慮した上で新規出店の業態を決定してまいりました。関東・中部・関西地域においては、特に「や台ずし」業態が好調であり、当業態を中心に新規出店に努め、また山陽・九州地域においては、「ニパチ」業態のニーズもあることから、「や台ずし」業態だけではなく当業態の新規出店にも努めてまいりました。

一方で、利益率の低い店舗については戦略的に撤退や売却を進め、全社的な利益率の改善や人材の効率的な配置転換等を実施することで改善を図ってまいりました。

また建築店舗・設計デザイン事業部（以下、「建築事業部」という。）は、当事業部の存在を強みとして最大限活用し、店舗展開する際のイニシャルコストの徹底的な抑制、投資回収の早期実現等の達成に大きく寄与しました。

以上の結果、店舗数につきましては、新規出店54店舗、退店4店舗、業態転換2店舗を実施し、当事業年度末の店舗数は284店舗（フランチャイズ含む）となりました。

また、当事業年度の売上高は15,683百万円（前事業年度比23.3%増）、営業利益は1,646百万円（同43.6%増）、経常利益は1,958百万円（同41.0%増）となり、当期純利益は1,221百万円（同40.3%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当事業年度における総資産は9,190百万円、負債は3,750百万円、純資産は5,440百万円であり、自己資本比率は59.2%となりました。

(流動資産)

流動資産につきましては前事業年度末に比べ1,951百万円増加し、6,138百万円となりました。これは主に現金及び預金が1,789百万円、未収入金が55百万円増加したことによるものであります。

(固定資産)

固定資産につきましては前事業年度末に比べ450百万円増加し、3,052百万円となりました。これは主に建物が342百万円、差入保証金が52百万円増加したことによるものであります。

(流動負債)

流動負債につきましては前事業年度末に比べ1,226百万円増加し、3,018百万円となりました。これは主に買掛金が516百万円、未払金が238百万円及び未払法人税等が226百万円増加したことによるものであります。

(固定負債)

固定負債につきましては前事業年度末に比べ61百万円増加し、731百万円となりました。これは主に、長期前受収益が50百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産につきましては前事業年度末に比べ1,113百万円増加し、5,440百万円となりました。これは主に利益剰余金が1,108百万円増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前事業年度末に比べて1,724百万円増加し、4,750百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は前年同期に比べ1,260百万円増加し、2,671百万円となりました。これは主に、税引前当期純利益576百万円及び仕入債務の増減額447百万円の増加によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は前年同期に比べ54百万円減少し、849百万円となりました。これは主に、定期預金の預入による支出95百万円及び定期預金の払戻による収入200百万円の増加によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は前年同期に比べ24百万円増加し、97百万円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出9百万円及び配当金の支払額15百万円の増加によるものであります。

当事業年度は、営業活動によるキャッシュ・フローで、新規出店のための固定資産を取得するとともに、長期借入金の返済を着実に実施することで負債比率の圧縮に努めております。

(4) 今後の見通し

平成31年3月期につきましても、「元気を持って帰ってもらう店なんやで」という基本理念を実現するため尽力してまいります。まず新規出店については前期実績を上回る56店舗という過去最大の新規出店を計画しております。業績が好調な主力業態である「や台ずし」を中心に新規出店するとともに、地域特性を鑑みて「ニパチ」業態も新規出店することで事業規模の拡大を目指してまいります。なお、新規出店56店舗のうち「や台ずし」業態43店舗、「ニパチ」業態12店舗、「や台どり」業態1店舗を計画し、退店5店舗を見込んでおります。各地域におけるお客様の多様化した嗜好ニーズに応えることが、業績に大きく寄与するものと考えております。

以上に基づき、平成31年3月期の業績見通しにつきましては、売上高18,500百万円（前期比18.0%増）、営業利益1,860百万円（同13.0%増）、経常利益2,240百万円（同14.4%増）、当期純利益1,380百万円（同13.0%増）と予想しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社の業務は日本国内に限定されており、海外での活動がないことから当面は日本基準を採用することとしておりますが、今後の外国人株主比率の推移及び国内他社のIFRS（国際財務報告基準）採用動向を踏まえつつ、IFRS適用の検討をすすめていく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成29年3月31日) | 当事業年度 (平成30年3月31日) |
|---------------|-----------------------|-----------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,816,416 | 5,605,442 |
| 売掛金 | 108,860 | 149,991 |
| 完成工事未収入金 | 47 | 1,108 |
| 未成工事支出金 | — | 125 |
| 原材料及び貯蔵品 | 105,219 | 136,999 |
| 前払費用 | 88,369 | 106,248 |
| 繰延税金資産 | 33,399 | 50,735 |
| 未収入金 | 31,760 | 86,844 |
| その他 | 2,675 | 578 |
| 流動資産合計 | 4,186,749 | 6,138,074 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物（純額） | 1,454,961 | 1,797,024 |
| 構築物（純額） | 38,811 | 48,381 |
| 車両運搬具（純額） | 4,994 | 5,757 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 282,878 | 283,247 |
| 土地 | 185,393 | 185,393 |
| 建設仮勘定 | 7,346 | 10,459 |
| 有形固定資産合計 | 1,974,386 | 2,330,264 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 1,206 | 2,319 |
| その他 | 3,829 | 3,714 |
| 無形固定資産合計 | 5,036 | 6,034 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 2,310 | 2,979 |
| 出資金 | 35 | 45 |
| 従業員に対する長期貸付金 | 776 | 187 |
| 長期前払費用 | 22,570 | 27,840 |
| 繰延税金資産 | 167,593 | 183,611 |
| 差入保証金 | 401,324 | 453,811 |
| その他 | 28,740 | 48,005 |
| 貸倒引当金 | △135 | △135 |
| 投資その他の資産合計 | 623,215 | 716,345 |
| 固定資産合計 | 2,602,637 | 3,052,644 |
| 資産合計 | 6,789,387 | 9,190,719 |

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成29年3月31日) | 当事業年度 (平成30年3月31日) |
|---------------|-----------------------|-----------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形 | 94 | 1,144 |
| 買掛金 | 448,269 | 965,059 |
| 工事未払金 | 57 | 403 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 66,663 | 92,553 |
| 未払金 | 495,473 | 733,953 |
| 未払費用 | 68,295 | 91,320 |
| 未払法人税等 | 278,300 | 504,551 |
| 未払消費税等 | 128,570 | 188,522 |
| 預り金 | 63,812 | 111,191 |
| 前受収益 | 108,992 | 126,258 |
| 設備関係支払手形 | 43,842 | 78,516 |
| 設備関係未払金 | 89,838 | 124,236 |
| その他 | 315 | 1,155 |
| 流動負債合計 | 1,792,526 | 3,018,867 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 121,693 | 106,227 |
| 役員退職慰労引当金 | 325,766 | 351,837 |
| 長期前受収益 | 221,223 | 271,224 |
| その他 | 1,812 | 2,312 |
| 固定負債合計 | 670,495 | 731,600 |
| 負債合計 | 2,463,021 | 3,750,468 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 331,752 | 334,279 |
| 資本剰余金 | | |
| 資本準備金 | 359,857 | 362,384 |
| 資本剰余金合計 | 359,857 | 362,384 |
| 利益剰余金 | | |
| その他利益剰余金 | | |
| 繰越利益剰余金 | 3,633,854 | 4,742,445 |
| 利益剰余金合計 | 3,633,854 | 4,742,445 |
| 自己株式 | △289 | △515 |
| 株主資本合計 | 4,325,174 | 5,438,592 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,191 | 1,658 |
| 評価・換算差額等合計 | 1,191 | 1,658 |
| 純資産合計 | 4,326,365 | 5,440,251 |
| 負債純資産合計 | 6,789,387 | 9,190,719 |

(2) 損益計算書

(単位：千円)

| | 前事業年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日) | 当事業年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | | |
| 店舗売上高 | 12,662,159 | 15,632,414 |
| 完成工事高 | 52,356 | 50,799 |
| 売上高合計 | 12,714,516 | 15,683,214 |
| 売上原価 | | |
| 店舗売上原価 | 4,075,788 | 5,012,046 |
| 完成工事原価 | 41,443 | 36,165 |
| 売上原価合計 | 4,117,231 | 5,048,211 |
| 売上総利益 | 8,597,285 | 10,635,003 |
| 販売費及び一般管理費 | 7,451,010 | 8,988,941 |
| 営業利益 | 1,146,274 | 1,646,061 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息及び配当金 | 1,040 | 797 |
| 協賛金収入 | 241,644 | 301,666 |
| その他 | 6,712 | 10,384 |
| 営業外収益合計 | 249,396 | 312,848 |
| 営業外費用 | | |
| 市場変更費用 | 6,000 | — |
| 支払利息 | 393 | 220 |
| その他 | 231 | 545 |
| 営業外費用合計 | 6,625 | 765 |
| 経常利益 | 1,389,045 | 1,958,144 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | — | 1,999 |
| 受取補償金 | 47,160 | — |
| 特別利益合計 | 47,160 | 1,999 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 35,103 | 847 |
| 減損損失 | 75,816 | 57,446 |
| 特別損失合計 | 110,919 | 58,294 |
| 税引前当期純利益 | 1,325,286 | 1,901,850 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 476,120 | 713,715 |
| 法人税等調整額 | △21,624 | △33,555 |
| 法人税等合計 | 454,495 | 680,159 |
| 当期純利益 | 870,791 | 1,221,690 |

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

(単位：千円)

| | 株主資本 | | | | | 評価・換算差額等 | 純資産合計 |
|---------------------|---------|---------|---------------------|------|-----------|------------------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 | その他有価証券 評価差額金 | |
| | | 資本準備金 | その他利益剰余金 繰越利益剰余金 | | | | |
| 当期首残高 | 329,732 | 357,837 | 2,860,626 | △202 | 3,547,993 | 1,057 | 3,549,051 |
| 当期変動額 | | | | | | | |
| 新株の発行(新株予約権の行使) | 2,020 | 2,020 | | | 4,040 | | 4,040 |
| 剰余金の配当 | | | △97,563 | | △97,563 | | △97,563 |
| 当期純利益 | | | 870,791 | | 870,791 | | 870,791 |
| 自己株式の取得 | | | | △87 | △87 | | △87 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | | 133 | 133 |
| 当期変動額合計 | 2,020 | 2,020 | 773,227 | △87 | 777,180 | 133 | 777,314 |
| 当期末残高 | 331,752 | 359,857 | 3,633,854 | △289 | 4,325,174 | 1,191 | 4,326,365 |

当事業年度(自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)

(単位：千円)

| | 株主資本 | | | | | 評価・換算差額等 | 純資産合計 |
|---------------------|---------|---------|---------------------|------|-----------|------------------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 | その他有価証券 評価差額金 | |
| | | 資本準備金 | その他利益剰余金 繰越利益剰余金 | | | | |
| 当期首残高 | 331,752 | 359,857 | 3,633,854 | △289 | 4,325,174 | 1,191 | 4,326,365 |
| 当期変動額 | | | | | | | |
| 新株の発行(新株予約権の行使) | 2,527 | 2,527 | | | 5,054 | | 5,054 |
| 剰余金の配当 | | | △113,099 | | △113,099 | | △113,099 |
| 当期純利益 | | | 1,221,690 | | 1,221,690 | | 1,221,690 |
| 自己株式の取得 | | | | △226 | △226 | | △226 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | | 466 | 466 |
| 当期変動額合計 | 2,527 | 2,527 | 1,108,591 | △226 | 1,113,418 | 466 | 1,113,885 |
| 当期末残高 | 334,279 | 362,384 | 4,742,445 | △515 | 5,438,592 | 1,658 | 5,440,251 |

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前事業年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日) | 当事業年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前当期純利益 | 1,325,286 | 1,901,850 |
| 減価償却費 | 349,554 | 369,050 |
| 長期前払費用償却額 | 8,308 | 13,971 |
| 減損損失 | 75,816 | 57,446 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(△は減少) | 22,860 | 26,071 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △51 | — |
| 受取利息及び受取配当金 | △1,040 | △797 |
| 支払利息 | 393 | 220 |
| 固定資産売却益 | — | △1,999 |
| 固定資産除却損 | 35,103 | 847 |
| 受取補償金 | △47,160 | — |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △28,214 | △42,191 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △18,032 | △31,905 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 70,732 | 518,187 |
| 未払金の増減額(△は減少) | 60,900 | 238,479 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | 14,387 | 59,951 |
| 前受収益の増減額(△は減少) | 9,377 | 17,266 |
| 長期前受収益の増減額(△は減少) | 31,006 | 50,000 |
| その他 | 20,774 | △20,555 |
| 小計 | 1,930,003 | 3,155,892 |
| 利息及び配当金の受取額 | 1,040 | 797 |
| 利息の支払額 | △408 | △224 |
| 法人税等の支払額 | △567,113 | △485,223 |
| 補償金の受取額 | 47,160 | — |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,410,682 | 2,671,241 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △790,000 | △885,000 |
| 定期預金の払戻による収入 | 620,000 | 820,000 |
| 固定資産の取得による支出 | △683,063 | △715,149 |
| 固定資産の売却による収入 | — | 2,000 |
| 差入保証金の差入による支出 | △50,794 | △64,753 |
| 差入保証金の回収による収入 | 10,080 | 12,265 |
| 貸付金の回収による収入 | 154 | 497 |
| 長期前払費用の取得による支出 | △10,714 | △19,241 |
| その他 | 290 | △256 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △904,045 | △849,637 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| ストックオプションの行使による収入 | 4,040 | 5,054 |
| 長期借入れによる収入 | 100,000 | 100,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △80,012 | △89,576 |
| 自己株式の取得による支出 | △87 | △226 |
| 配当金の支払額 | △97,331 | △112,830 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △73,390 | △97,578 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 433,246 | 1,724,025 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 2,593,170 | 3,026,416 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 3,026,416 | 4,750,442 |

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、飲食事業の単一セグメントであるため記載を省略しております。

(持分法損益等)

当社は関連会社を有していないため、該当事項はありません。

(1株当たり情報)

| | 前事業年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日) | 当事業年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 1株当たり純資産額 | 420.95円 | 527.97円 |
| 1株当たり当期純利益金額 | 84.83円 | 118.74円 |
| 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額 | 84.23円 | 118.11円 |

(注) 1 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| 項目 | 前事業年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日) | 当事業年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日) |
|---------------------|--|--|
| 1株当たり当期純利益金額 | | |
| 当期純利益(千円) | 870,791 | 1,221,690 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | — | — |
| 普通株式に係る当期純利益(千円) | 870,791 | 1,221,690 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 10,264,649 | 10,288,513 |
| 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額 | | |
| 当期純利益調整額(千円) | — | — |
| 普通株式増加数(株) | 73,010 | 54,451 |
| (うち新株予約権)(株) | (73,010) | (54,451) |

2 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| 項目 | 前事業年度 (平成29年3月31日) | 当事業年度 (平成30年3月31日) |
|--------------------------------|-----------------------|-----------------------|
| 普通株式に係る期末の純資産額(千円) | 4,326,365 | 5,440,251 |
| 1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株) | 10,277,439 | 10,303,939 |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。